

# 経済日誌

10月

P=ポイント

国 内		県 内	
1日	<b>9月日銀短観、全産業業況判断指数僅かに改善</b> 日銀が発表した9月の全国企業短期経済観測調査(日銀短観)では、全産業の業況判断指数(DI)は前期(2021年6月調査)に比べ1P上昇のマイナス2。先行きについては3P低下のマイナス5。	1日	<b>来春卒業予定県内高校生求人倍率、8月末1.68倍</b> 宮崎労働局が発表した8月末時点の来春卒業予定の県内高校生の求人倍率は、前年同月比0.31P増の1.68倍。求人数3,513人に対し、求職者数が過去最少の2,085人となり、数値を押し上げた。
4日	<b>岸田内閣発足</b> 自由民主党の岸田総裁は衆参両院の指名を受け、第100代首相に就任。組閣を終え、自由民主党と公明党連立による岸田内閣発足と同時に、衆議院の解散を10月14日と表明。	1日	<b>国富町で「デマンド型乗合タクシー」試験運行開始</b> 国富町は、コミュニティバスに替わる「デマンド型乗合タクシー」の試験運行を開始。自宅から町が指定する乗降場(病院やお店)までの移動で、交通移動手段のない高齢者などが利用できる。
7日	<b>8月景気動向一致指数、2カ月連続低下</b> 8月の景気動向一致指数(速報値、2015年=100)は、前月比▲2.9Pの91.5と2カ月連続の低下。一致指数算出10項目のうちの8指標(集計済)が低下。基調判断は「改善を示している」。	1日	<b>高鍋町、10月の1カ月間ポイント還元事業実施</b> 高鍋町は、地域経済支援のために10月の1カ月間、スマートフォン決済によるポイント還元事業を実施。同決済の大手PayPay(株)(東京都)と連携し、決済金額の15%を還元。同社との連携は県内2自治体目。
7日	<b>10月日銀地域経済報告、5地域で景気判断引き下げ</b> 日銀による10月の地域経済報告は、新型コロナウイルス感染症の影響から、全国9地域のうち、東北や東海など5地域が景気判断を前回(7月判断)から引き下げた。	1日	<b>日向市観光協会、同市内宿泊者向けキャンペーン開始</b> 日向市観光協会は、経済対策として「ヒュー！っと泊まって旅得クーポン第2弾」を開始。県内在住者で対象宿泊施設の利用者1名につき3千円のクーポン券を配布する。
8日	<b>8月家計調査、消費支出前年同月比3.0%減</b> 8月の家計調査では、緊急事態宣言対象地域拡大などの影響で、消費支出(2人以上の世帯)は物価変動を除いた実質で前年同月比3.0%減。1世帯当たりの金額は26万6,638円と2カ月ぶりの減少。	1日	<b>五ヶ瀬町、ゼロカーボンシティを宣言</b> 五ヶ瀬町は、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする取り組みを継続的に実施することを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を表明。循環型社会の構築など5つを具体的施策としている。
8日	<b>8月国際収支状況、経常収支1兆6,656円の黒字</b> 8月の国際収支状況(速報)では、海外とのモノやサービスなどの取引状況を表す経常収支は前年同月比▲4,196億円の1兆6,656円。貿易収支が赤字に転化したことから黒字幅が縮小。	1日	<b>都城市、都城商業高校とデジタル関連事業で連携</b> 都城市は、県立都城商業高等学校と「デジタル関連事業に係る連携協定」を締結。市政における様々なデータを高校に提供し、将来、地域産業に寄与できるデジタル人材の育成を図る。
8日	<b>2021年度上半期企業倒産件数、57年ぶり低水準</b> 2021年度上半期(4~9月)の全国企業倒産件数(負債額1,000万円以上)は、前年同月比23.8%減の2,937件。コロナ禍での金融支援等が奏功し、1972年度以降では最少となった。	16日	<b>2021年みやざきワインヌーヴォー解禁</b> 「みやざきワイン」推進実行委員会は、県内4つのワイナリーによる今年の新酒を解禁。九州イオングループ77店舗で販売を開始。宮崎の「いいもの」を発信し、宮崎に貢献することがコンセプト。
8日	<b>9月景気ウォッチャー調査、景気判断指数改善</b> 9月の景気ウォッチャー調査では、景気の現状判断指数(DI、季節調整値)は前月比7.4P上昇の42.1と2カ月ぶりに改善。家計動向関連、企業動向関連、雇用関連のすべての指数が改善。	17日	<b>国民文化祭、障害者芸術・文化祭閉幕</b> 7月3日から開催された「第35回国民文化祭」「第20回全国障害者芸術・文化祭」が107日間の日程を終え閉幕。本県の多様な文化を県民が体感し魅力を全国に発信した。
15日	<b>10月月例経済報告、景気の基調判断据え置き</b> 10月の月例経済報告では、個人消費の弱さや輸出増勢の鈍化などから、景気の基調判断を「持ち直しの動きが続いているものの、そのテンポが弱まっている」と前月から据え置き。	19日	<b>ソラシドエア、いちご、宮交シティ、3者事業連携</b> (株)ソラシドエアと(株)宮交シティといちご(東京都)は、ソラシドエアが取り組む「空陸一貫高速小口貨物輸送事業」への連携開始を発表。空陸一貫輸送を使い、宮崎県産品と神奈川産品の相互交流を行う予定。
20日	<b>9月貿易統計、貿易収支2カ月連続赤字</b> 9月の貿易統計(速報)では、輸出が前年同月比13.0%増の6兆8,412億円。輸入が同38.6%増の7兆4,640億円。輸出から輸入を差し引いた貿易収支は▲6,228億円と2カ月連続の赤字。	21日	<b>宮崎カーフェリー、新船の来春就航発表</b> 宮崎カーフェリー(株)は、2021年10月20日に進水した新船「フェリーたちほ」が2022年4月15日に宮崎-神戸間で就航予定と発表。これにより、県産農産物の輸送力向上が高まる。